

# テーピングでリハビリ促進

## 元気村G研究大会で表彰

高齢者施設や障害福祉サービス事業所を全国で100拠点展開する元気村グループ(さいたま市)は2024年11月、グループ内施設での事例研究発表を行う「第28回高齢者介護研究会」を開催した。研究発表では「テーピングスマイルプロジェクト」を発表した「ななさと翔裕館」、ポスターセッションではAIを相談業務に活用した事例をまとめた「しよぶ翔裕園」が最優秀賞を受賞した。それぞれの施設の事例研究について紹介する。

### ■ななさと翔裕館 半年間で握力向上

サービスタッチ高齢者向け住宅ななさと翔裕館(同・定員50名)は、テーピングを活用し利用者の身体機能を維持・改善させた。「入居者50名に対し機能訓練指導員は1名。忙しい時には利用者1人に対して10分しか対応できず、寄り添えていないことが歯がゆかった」と、研究発表を行った機能訓練指導員の篠葉瑞樹氏は語る。



▲テーピングを効果的に活用し、入居者の目標を実現させた

事例研究ではAさん(80代女性)、Bさん(80代男性)の2名を対象に約半年間テーピングを実施し経過を観察した。

開始直後の握力は、テーピングなしで6・2キログラム、テーピングありでは7・1キログラムだったが、3ヵ月後にはテーピングありで7・2キログラムに向上した。握力向上が課題だったAさんは、生活リハビリや週1回の訓練に加え、前腕部にテーピングを日常的に施した。

### 生成AI相談業務に訪問営業の時間確保

トルから35・2センチメートルへと大幅に改善。自力でスイングが可能な段階に至った。今後、テーピング方法をマニュアル化し、施設内で共有する予定だ。

■しよぶ翔裕園 介護記録を効率化 特別養護老人ホームしよぶ翔裕園(久喜市・定員120名)の相談員後藤正典氏は、生成AIを次の4つの業務改善に役立てた。

①会議録の作成②介護記録の要約およびケアプラン作成③営業リストや家族向け案内文の作成④業務マニュアル作成

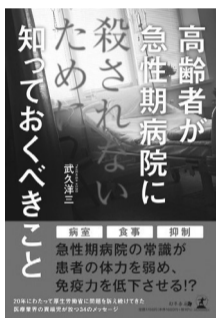
生成AIによる文書作成では、同じプロンプトでも出力結果が異なることが課題だったが、「〇文字以内」「〇〇の部分为重点的に」などの細かい指示で結果が安定してきたという。

この取り組みにより、会議録作成時間が月300分減、介護記録要約にかかる時間が450分減となり、時間創出につながった。これによって、これまでできなかった直接訪問による営業を月15、20件実施できるようになった。稼働率も第2四半期の93・2%から第3四半期には96・5%へと上昇。「3%向上したということは4部屋が埋まったことになる。収入に換算すると100万円以上の増加分が加わった」と後藤氏は語る。

これらの経験を活かし、外国人職員向けにそれぞれの母国語で書かれた業務マニュアルを生成AIで作成することを試みている。同グループは今回の

## 介護 Biz

### 高齢者が急性期病院に殺されないために 知っておくべきこと



武久洋三著 幻冬舎 税込1760円



いまや急性期病床の6割が75歳以上の後期高齢者で埋め尽くされている。この割合はこれからますます増えて7〜8割にもなるだろう。しかし急性期病床はこの後期高齢者の入院患者の激増に適切に対応しているとはとても言えない。本書を著した武久洋三氏は「現在の急性期病院が無意識に行っている行為が高齢者の体力を弱め、免疫力を低下させ、最終的には高齢者の命の危険にさらしている」と言う。

### 高齢者向け救急の改革

#### スポーツジム 発災時拠点に

静岡県沼津市、同市社会福祉協議会、ルネサンスの3者は2月5日、「災害時における施設の一時使用等に関する協定」を締結した。本協定により、災害発生時にはルネサンスが市内で運営する「スポーツクラブルネサンス・トーア沼津」を求め、

たしかに急性期医療では治療に専念するあまり、高齢者の心身の特性への配慮が欠けている。制度もそれに追いついていない。高齢者は4〜6人部屋に押し込められ同室者に気を使って夜も眠れない、食事も好みがあったものが食べられない、治療が優先でリハビリも行われない、さらに安全のためベッドに抑制される。こうして高齢者は入院中であつた間に要介護状態になり認知症も進む。まさに武久氏が言う「急性期医療とは医原性身体環境破壊装置」という言葉がぴったりだ。

こうした反省にたつて厚生労働省は、2024年診療報酬改定で「地域包括医療病棟」という、高齢者救急を受け入れる専用病棟を新設した。趣旨は高齢者の救急患者などを受け入れた。早期からリハビリ、栄養管理を行い、入院支援により速やかな在宅復帰を促すこととした。

コロナ前に武久氏が経営する徳島の平成記念病院を訪問する機会があった。武久氏の理念は「患者を絶対に見捨てないこと」だ。病院の中にネコ屋敷があったのには驚いた。患者さんがお亡くなりになったあと引き取り手のないネコを集めた部屋だ。武久氏の部屋にも数匹のネコが闊歩している。「ネコも見捨てない」と言う。いつもは強面の武久氏のやさしい一面をみて感動した。

ランティアの受け入れ拠点として利用する。具体的には、ボランティアなどが使用する場所の提供、ボランティアなどに対する入浴施設の提供、支援物資の一時集積場所としての利用などが挙げられている。

NIPPON INSURE & CO

# ケアサポート CARE SUPPORT

**介護施設様 メリット**

- 極度額の設定不要! 弊社(法人)が保証する為、極度額設定が不要になります。
- 充実した保証でサポートも万全! 入居契約解除や清掃修復などのサービスも対応いたします。

**未収金が減少! 業務負担軽減でサービス向上!** 施設利用料を立替えますので未収金が減少し、今まで督促・事務業務に費やした時間を入所者様と向き合う時間にまわせます。

**入所審査も代行!**

**入所者様 メリット**

- 連帯保証人を探す必要ナシ! 身寄りのない方やお身内に保証人を頼みたくない方でも、弊社が連帯保証人を担いますので入所しやすくなります!
- 入所時にかかる保証金の負担軽減! 保証会社が債務保証するため、入所時に保証金を預けなくてもご入所できます!

**ニッポンインシュア株式会社** TEL.0570-05-1080

家賃債務保証業者登録番号: 国土交通大臣(2)第43号 <受付時間>10:00-17:00(日・祝日を除く)